

研修参加報告書

平成30年 4月 20日

会 派 名 江政クラブ
会派代表者 河合 正猛
)

(参加者： 尾関 昭 、伊藤吉弘

研修参加の結果について、次のとおり報告します。

①

年 月 日	平成30年 4月19日 ~ 20日 (木・金)
研修時間	(19日) 12:30~17:00 , (20日) 9:25~14:25
研修場所	全国市町村国際文化研修所
研修内容	平成30年度 市町村議会議員研修 「住民とのコミュニケーション ~対話と発信力の向上~」 (講師： 本間 正人)

②

年 月 日	平成 年 月 日 ()
研修時間	
研修場所	
研修内容	(講師：)

③

年 月 日	平成 年 月 日 ()
研修時間	
研修場所	
研修内容	(講師：)

研修参加報告書

①

年月日	平成30年 4月19日 ~ 20日 (木・金)
研修時間	(19日) 12:30~17:00 , (20日) 9:25~14:25
研修場所	全国市町村国際文化研修所
研修内容	平成30年度 市町村議会議員研修 「住民とのコミュニケーション ~対話と発信力の向上~」 (講師: 本間 正人)
<p>■目的</p> <p>住民との対話と受発信力を今まで以上に更に向上させ、地域の問題を的確に把握し、またそれを如何に行政運営に活かしていくかを学ぶ。</p>	
<p>■内容</p> <p>00. 教育学から学習学への時代 最終学歴ではなく、最新学習歴を更新し続けることの重要性。(日本語の難しさ)</p> <p>01. コミュニケーションの機能 人間関係の影響度は、内容を示す「言語コミュニケーション」より、伝え方を表す「非言語コミュニケーション」のほうが圧倒的に大きく、同時に信頼関係の構築には、傾聴・言行一致・守秘義務が欠かせない。</p> <p>02. 言語コミュニケーションのポイント 言語は多義性(あいまいさ)が発生しやすい。具体性(わかりやすさ)が要点で、表, グラフ, イラスト, 絵, 写真, 動画, 実演等、相手の立場に立ったわかりやすい指示と予告、相手に合わせた表現に主眼を置く。</p> <p>03. コーチングの基本的な考え方 「教え込む」(ティーチング)のではなく、「引き出す」のがコーチングである。いま何処にいるのか【現状】 ⇒ 何処へ向かうのか、何を目指しているのか行くのか【目標】をはっきりさせ、伝達する。</p> <p>04. 傾聴のスキル 聴くチカラこそが人間力。21世紀のスタイルとは、①創造力 ②人間関係 ③感動と発見 であり、ロボット(AI)に出来ない事を求めていく時代となる。</p> <p>05. 質問のスキル「ヒーロー・インタビュー」の応用 心と心の通い合う体験の共有 と グッドニュース(好機)の循環 でヒーローから具体的な話を引き出す。</p>	
<p>■所感</p> <p>住民とのコミュニケーションのあり方については、様々なコーチングの手法を応用し、共通点を見つけ、かつ施策等へのビジョンに繋げていくこと。また相違点については、多様性の尊重しつつ、先の共通点を踏まえ、情報の共有をすることによって良好な信頼関係を構築することが大切であると感じた。</p>	